

時間割コード	G2B45302	開講年度	2026				
授業題目	フランス文学ゼミ				担当教員	鈴木 球子	
英文授業名	French literature: Seminar						
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	水曜・4時限	対象学生	全
講義室	共通教育3 4 講義室		授業形態	演習	遠隔授業科目		備考
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	大学D P 的確に情報を収集し、理解し、発信する力				・世界の多様な文化・思想に関する幅広い知識を涵養し、さらにそれについての見解を持つ事ができるようになる。 ・異文化理解を深め、受容力を養うことができる。		
(2)授業で学べる「テーマ」	芸術文化						
(3)全学横断特別教育プログラム	グローバルコア人材養成コース ・ B A S I C (国際理解)						
(4)授業の概要	17世紀から20世紀にかけての、いくつかの代表的なフランス文学作品を紹介します。3～14回目の授業では、2回で1つの作品を扱います。概要を理解した後、実際にテキスト（邦訳）の一部を読みます。そして、各グループが1つの作品を担当して、作者について、作品の粗筋、執筆背景、興味を持った点などについてプレゼンをした後に、皆で討論をします。 授業後に、作品とプレゼンについての意見・感想をe-ALPSに書き込み、意見交換をします。 大まかな進捗は、以下の「授業計画」で示している通りですが、履修者の理解度に応じて、臨機応変に対応します。						
(5)授業のキーワード	ヨーロッパ文学、仏文学・仏語圏文学、グループワーク						
(6)授業計画	1．オリエンテーション、授業の目的、学習計画等確認 2．ペロー『赤ずきん』の読解、グループ作成 3～4．モリエール『タルチュフ』の読解とプレゼン 5～6．ベルナルダン・ド・サン・ピエール『ポールとヴィルジニー』の読解とプレゼン 7～8．ボーマルシェ『フィガロの結婚』の読解とプレゼン 9～10．バルザック『ゴリオ爺さん』の読解とプレゼン 11～12．ジョルジュ・サンド『愛の妖精』の読解とプレゼン 13～14．コクトー『恐るべき子供たち』の読解とプレゼン 15． 20世紀の文学についてのまとめ、授業の総括、授業アンケート						
(7)成績評価の方法	・発表内容：40点 ・討論への参加：10点 ・期末課題：50点（発表に参加した場合、提出できるものとします） これらを総合して評価します。						
(8)成績評価の基準	・発表内容40点：担当する作品について、「作品のあらすじと登場人物」「作者」「時代背景」「魅力」などを含む、プレゼンテーションを行ってもらい、40点満点で評価します（グループ点20点、個人点20点）。 ・討論への参加10点：他グループへのプレゼンと、そこで扱われた作品について、e-ALPS上で意見交換を行ってもらいます。その内容を10点で評価します。 ・期末課題50点：他グループが扱った作品について、800字程度で書評を作成してもらいます。その内容を50点で評価します。1)書評の形式が整っていること、2)作品の本質が理解できていること、3)作者について適切な情報を得ていること、4)時代背景について理解できていること、5)その上で自分の意見や感想を明確に提示できており、かつ教員を感心させるレベルにあること、の5項目を評価の対象とします。 上記3点を総合して、合計点が90点以上で「卓越している」、89～80点で「かなり上にある」、79～70点で「やや上にある」、69～60点で「その水準にある」と評価します。						
(9)事前事後学習の内容	翻訳でよいので、授業中に指示した作品や、配布した資料を読んでおきましょう。 自分がプレゼンテーションに当たった時は、配布資料を自分たちで作成することになります。 この授業は90時間の学修を必要とする内容です。従って、60時間以上の時間外学習が必要となります。						
(10)履修上の注意	遅刻は授業開始後～30分まで、授業が始まって30分経ってから入室した場合は欠席扱いになります。遅刻を3回すると、1回分の欠席にカウントされます。 プレゼンテーションは、グループメンバー同士協力し合って、早めに準備をしましょう。 自分がプレゼンを担当する作品や、書評を書く作品については、各自が入手する必要があります。 課題については、提出期限に遅れたものは、基本的には受理しません。						
(11)質問,相談への対応	オフィスアワー、メールアドレス：e-ALPSに提示します。 質問は基本的にメールにて受け付けます（土日と休日は返信しません）。						
(12)授業への出席	全ての回に出席することを基本とします。この授業の達成目標に到達するためには10回以上の出席が必要です。 「出席停止」に該当する際は、その旨の申請があった場合は成績評価の対象とします。						

(12)授業への出席	(申請については、基本的に「授業日を含めて4日目まで」とします。)
(13)授業に出席できない場合の学修の補充	「学修の補充の対象とする事由」により出席できない場合は、共通教育履修案内に掲載されている方法により、補充を受けるための申請を行ってください。ただし、授業中の発表に関する事など、その性質上、補充できない内容もあります。
【教科書】	特にありませんが、発表を担当する作品や、書評を作成する作品は、各自で入手してもらうことになります。
【参考書】	横山安由美／朝比奈美知子編著、『はじめて学ぶ フランス文学史』,ミネルヴァ書房, 2002年, 2800円 + 税, ISBN 978-4-623-03490-1 参考書の購入は任意です。詳しくはオリエンテーションで説明をします。